2023 年度　第 1 回理事会議事録

Ⅰ．会議名　：2023 年度（公社）日本地すべり学会　第 1 回理事会

Ⅱ．開催日時：2023 年 5 月 12 日（金）　14 時 30 分～17 時 00 分

Ⅲ．開催場所：TKPガーデンシティ渋谷　1 階 カンファレンスルームD
（WEB会議を併用したハイブリッド方式）

Ⅳ．出席者　：理事出席 17 名，監事出席 1 名，その他 4 名

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野　志穂	○	理事	大河原　正文	×	理事	堤　大三	○W
理事	新井場　公徳	○	理事	太田 英将	○W	理事	冨田 陽子	×
理事	飯沼　達夫	○	理事	岡田　康彦	×	理事	中村 真也	○W
理事	石丸 聡	○W	理事	加藤 猛士	○	理事	藤井 俊逸	○W
理事	岩橋 純子	○W	理事	笹原 克夫	○	理事	古谷　元	○W
理事	宇次原 雅之	○	理事	佐藤 剛	○W	理事	渡部 直喜	○W
理事	榎田 充哉	○	理事	佐藤 浩	○W	（理事 17 名，定足数 11 名）		

監事	今泉 文寿	×	監事	相楽 渉	○	（監事 1 名）

表彰委員長	平松　晋也	○	選挙管理委員長	田中　龍一	○	
事務局	鈴木　英則	○	総務部	藤元　亮	○	
（その他 4 名）						

○理事会開催時における理事の出席数は 15 名。定足数 11 名（理事の過半数）を満たし理事会は成立。

堤理事は，審議事項-1 の途中より参加（出席理事 16 名）。

古谷理事は，審議事項-1 の途中より参加（出席理事 17 名）。

佐藤浩理事は，審議事項-1 の途中に退席（出席理事 16 名）。

岡田理事は，審議事項-1 の途中に退席（出席理事 15 名）。

佐藤浩理事は，報告事項-4 の途中より復帰（出席理事 16 名）。

藤井理事は，報告事項-5 の途中に退席（出席理事 15 名）。

○議事録署名人は，笹原会長，相楽監事。

＜議長あいさつ＞

笹原会長が開会のあいさつを行った。

議題Ⅰ．審議事項

１．2022 年度事業報告

各部長，支部長より，2022 事業報告についての説明が行われた。（部長，支部長が欠席の東北支部，九州支部については，新井場理事が説明。）説明後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- アウトリーチ活動に関して，活動がやや少ないと思われる状況にあったが，体制は十分か。

→昨年度より担当理事が 2 名追加となり，合計 3 名体制であるため問題はない。ただし，具体的に HP を構築する段階になると，体制を再構築する必要があると考えているため，改めて相談させてもらいたい。

- 2023 年度収支予算についての審議の結果，賛成 15 票，反対 0 票で承認された。

２．2022 年度決算報告及び監査報告

飯沼理事より，2022 年度決算報告についての説明があった。また，相楽幹事より監査報告についての説明があった。説明後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- 昨年度は赤字決算となっている。活動が活発化することは好ましいが，今後について考える必要があるのではないか。

→報告-4 の令和４～6 年度で予定している学会活動の活性化施策の後，方針について考えていく必要がある

- 2022 年度決算報告及び監査報告についての審議の結果，賛成 15 票，反対 0 票で承認された。

３．2023 年度学会賞

平松表彰委員長より，2023 年度学会賞についての説明があった。

- 2023 年度学会賞についての審議の結果，賛成 15 票，反対 0 票で承認された。

４．2023 年度研究助成対象研究課題

古谷理事より，2023 年度助成対象研究についての説明があった。また，2024 年度の研究助成について募集中であるが，まだ応募がない状況にあるため，対象となるような方がいれば，

応募を勧めてもらいたい旨の依頼があった。

・ 2023 年度研究助成対象研究課題についての審議の結果，賛成 15 票，反対 0 票で承認された。

５． 2024 年度研究発表会

佐藤剛理事より，2024 年度研究発表会及び現地見学会担当支部についての説明があった。

・ 2024 年度研究発表会についての審議の結果，賛成 15 票，反対 0 票で承認された。

６． 入退会者状況

鈴木事務局長より入退会者状況についての説明があった。

・ 入会者についての審議の結果，賛成 15 票，反対 0 票で承認された。

議題Ⅱ．報告事項

１． 代議員選挙結果

田中選挙管理委員長より，2023・2024 年度年度代議員選挙結果について報告があった。

・ 理事からの意見は，特になかった。

２． 代議員の交代（関東支部）

新井場専務理事より，代議員の交代についての報告があった。

・ 理事からの意見は，特になかった。

３． 若手対策事業の追加と修正

新井場専務理事より,若手対策事業の追加と修正についての報告があった。

・ 理事からの意見は，特になかった。

４． 学会活動の活性化施策

浅野副会長より，学会活動の活性化に向けた各部・各支部の課題や主要テーマについてのヒアリング結果，今後の方針（2023～2025 年に事業計画への反映）についての報告があった。報告後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

・ 現地見学会等，県や市町村とタイアップした事例があれば教えて頂きたい。

→新潟支部では，新潟県地すべり対策研究会（地すべり学会新潟支部，土木研究所 雪崩・地すべりセンター，新潟県，北陸地方整備局，新潟県地すべり防止工事士会，新潟県砂防ボランティア協会で構成されており，事務局は新潟県）の活動を実施している。2012

年の国川地すべりの災害時に活動を継続している地すべり対応で難しい判断が迫られ，新潟県，地すべり学会，土木研究所他が連携して対応し，合同現地調査や勉強会を開催したといった経緯で始まった。この後も継続して機能している。

・ 学会と行政のタイアップについては，行政側からどのようなルートで相談すればよいか判断がつかないという話を聞くことがある。学会側からアクションを起こし，タイアップを提案していくということも必要のように思われる。

５． 会長・副会長・専務理事の職務執行報告

笹原会長，浅野副会長，榎田副会長，新井場専務理事より，職務執行の報告があった。

・ 理事からの意見は，特になかった。

６． グループ内ファイル保管共有サービスの提供開始

鈴木事務局長より，グループ内ファイル保管共有サービスの提供開始に関する報告があった。

・ 理事からの意見は，特になかった。

７． 2023 年度（公社）日本地すべり学会シンポジウム開催内容

佐藤剛理事より，2023 年度（公社）日本地すべり学会シンポジウム開催内容についての報告があった。

・ 理事からの意見は，特になかった。

８． 「地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク」活動報告

加藤理事より，「地すべり学会 BIM/CIM ネットワーク」活動報告と、４月にネットワークのメンバー及びオーガナイザーを再募集した結果報告があった。報告後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

・ 今後，新たに入りたいという方を対象とした募集はどのように考えているのか。

→報告した追加募集は，広報的な意味合いであり，随時募集している。希望者から連絡があった場合は，入って頂くことで考えている。

９． 賛助会員への感謝状の贈呈

鈴木事務局長より，賛助会員への感謝状の贈呈についての報告がなされた。

・ 理事からの意見は，特になかった。

１０．　**その他**（第 62 回（2023 年度）研究発表会および現地見学会の準備状況）

堤理事より第 62 回（2023 年度）研究発表会および現地見学会の準備は順調に進んでいる旨の報告があった。また，新型コロナウィルス感染症の発生動向によっては，収支への影響が懸念されるため，収支への影響が見込まれる場合は，早めに相談予定である旨の報告があった。

以上

議事録署名人　　笹原　克夫　　㊞

議事録署名人　　相楽　　渉　　㊞